



鈴木 利一

コロナで対面の 大切さを知る

今期4年間はコロナに振り回された4年間だったと思います。人が多く集まる会議などは、中止や人を少なくしての開催で行われるようになり、現在では簡単にという事で書面決議が多くなっています。また、飲み会の中止や自粛で人が集まることが大幅に少なくなりました。

そのことで人と人が対面での会話がいかにか大切なのか、そして顔を見ての会話がいかにか重要であるかを感じるようになりました。

コロナが少なくなってきた、今年度は視察研修ができるようになりました。視察研修は現地で担当者や利用者の話を直接聞き、現地を見学することができ、るので非常に勉強になります。研修で得たことを反映するように努めています。



佐藤 一八

わたしのほんね

私は、5期20年議会活動の中で、選挙による当選は3回で無投票当選は2回でした。無投票によっての当選は、自分に対し地域や町民皆様方の評価が見られないのが現実でないでしょうか。町民の多くは、選挙によって評価されることを望んでいると思います。

今は、どこの自治体でも、議員のなり手不足が問題視されています。三春町もその一つであると思います。地域性もありますが、自分自身の努力によって選任されると私は思います。今後は、一人でも多くの方々の挑戦を願うものです。



三瓶 文博

議会選出の 監査員として

監査委員が行う監査は、例月出納検査、定期監査、決算審査、行政監査、基金運用状況の審査、金融機関の公金出納検査等です。定期監査においては、全ての課それぞれに課題を指定し、詳しい説明を受け監査を行っています。

他の自治団体の不祥事の背景を考え、それが起こりにくい環境になるための指摘が大切だと思います。指摘することで、「問題」が周知のものとなり、解決すべき「課題」になります。機能する監査が、職員の規律や法令遵守意識を支えると思います。また、役所が賢明で効率的にお金を使うことが必要であり、そんなことを念頭に日々勉強を積み重ね、重責を感じています。



佐久間正俊

安心安全なまちづくり

町から提出された議案は町民生活全般に関わるものであり、本会議、各委員会を問わず慎重に審議してきました。委員会では、経済建設常任委員会に所属し、産業課や建設課、企業局の議案など数多くの付託された議案を審議してきました。

私は、9月でまる4期になります。町民から来た要望は、町に届けて来ました。議員になると、多くの町民の皆さんと話ができてとても良かったです。大変ありがとうございました。ただ、議員の報酬だけでは、生活はとてもできないと思います。



影山 常光

この道に入った 覚悟が必要ですね！

議会活動に限らず、何事においても現状認識が大切です。多くの人との意思疎通や交流は、物事を判断するとき、立ち位置を決めてくれるナビゲーターになります。地域のまちづくりや各種団体での皆さんとの活動は、自分を導いてくれ、充実した気持ちにさせてくれます。

「帰りは別の道を通れ！」「政治は一人ではできない！」「と言われますが、日々の変化や人々の想いへの感性が求められます。少しでも三春町を良くしたい、一歩前進の心意気で、一貫した政治姿勢を保ちながら、行政の奥深さを肌身に感じて、議員活動に励んでおります。引き続きの御指導をお願いいたします。